

平成 17 年度 特色 GP

多くの職種が参加する医療者教育 —Inter-professional Education—

概要

医療とは医師、看護師だけではなく、それ以外の数多くの職種の人たちが患者さんを中心に、チームを組んで行うものである。一緒に働く他職種の人たちの思いを理解して、初めてチームワーキングが可能となる。慈恵医大は平成元年から、他職種が参加する教育（Inter-professional Education）を実施している。具体的には学生が、他職種の職場に 1 週間入り、仕事に対する責任をもち、指導者やスタッフを手伝いながら、仕事の中でその職種の思いを学ぶ。この学習により、学生は他者理解やチームワーキング能力を獲得していく。Inter-professional Education は、学生のチームワーキング能力を育て、人間としての成長をも促す有効な教育手法である。知識基盤社会では、他職種と協調して新しい仕事を遂行する人材養成が求められている。この能力は、医療者に限らず、全ての専門職業職者に必要なものである。慈恵医大のこの取組は、専門職業職者を育てる手法の一つとして、Inter-professional Education の重要性を提案するものである。